

2019年（平成31年）4月18日
東京キャラバン広報事務局

今年度最初の開催で“コンドルズ”主宰・近藤良平が躍る!!

東京キャラバン in いわき

日時：2019年5月19日（日）15:00／会場：アクアマリンパーク内特設会場

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムであり、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の公認文化オリンピックのひとつである「東京キャラバン」では、2019年5月19日（日）15:00から、福島県いわき市小名浜のアクアマリンパーク内特設会場にて、「東京キャラバン in いわき」を開催いたします（観覧無料）。

「東京キャラバン」は、野田秀樹（劇作家・演出家・役者）総監修のもと、言語や国境、表現ジャンルを超えた多種多様なアーティストたちへの参加を呼びかけ、これまでおおよそ交わることのなかった表現者同士の“文化混流”を実現させることで、新しい表現によるパフォーマンスを創出し続けている“旅する文化ムーブメント”です。

日本中を巻き込み、東京2020大会以降の未来へと続く文化活動のプラットフォームになることを目指し、芸術文化界で活躍する著名人や新しい才能と若きパワー溢れる表現者たちを迎え、全国各地で「文化サーカス」を繰り広げています。

いわきの豊かな文化と東京のアーティストが出会い、混ざり合い、創作する新しいパフォーマンス！

今年度最初の開催となる「東京キャラバン in いわき」では、振付家・ダンサー・ダンスカンパニーのコンドルズを主宰する近藤良平がリーディングアーティストを務めます。4月6日、7日には、近藤と2017年の「東京キャラバン in 熊本」を機に結成されたチャンキー楽団、近藤の選抜によるダンサーらがいわきを訪れ、土地の風土や歴史のリサーチ、地元アーティストたちとの創作を行いました。

今回のパフォーマンスでは、地元いわきのアーティストとして、ラップグループのオナハマリリックパンチラインをはじめ、上三坂やっつき踊り保存会、下綴青年会（じゃんがら念仏踊り）、スパリゾートハワイアンズダンスチーム、そしてスパリゾートハワイアンズファイヤーナイフダンスチーム Siva Ola が参加し、近藤とともにジャンルを超えた“文化混流”に挑戦します。

ますます躍動する「東京キャラバン2019」が、いわきでどんな文化の種を蒔き、“わくわく”と“どきどき”を掻き立てるのか。2020年のその先へと続く物語にどうぞご期待ください!!



撮影：上石了一

4月の創作ワークショップの様子



撮影：上石了一

開催概要

名称 : 東京キャラバン in いわき
日程 : 2019年5月19日(日) 15:00～
会場 : アクアマリンパーク内特設会場 (福島県いわき市小名浜辰巳町地内)
※雨天時はいわき芸術文化交流館アリオス中劇場(福島県いわき市平字三崎1-6)
観覧 : 無料、事前予約不要
参加アーティスト : 近藤良平(振付家・ダンサー・「コンドルズ」主宰)、
チャンキー楽団(小西英理/ピアノ・アコーディオン、坂口修一郎/トランペット、
しみずけんた/カバキーニョ、チャンキー松本/歌・切り絵、南條レオ/パーカッション、
ぽん宇都良太郎/ベース、岡田カーヤ/アルトサックス)、ダンサー・パフォーマー
(大西彩瑛、小林らら)、オナハマリリックパンチライン(ラップグループ)、
上三坂やっつき踊り保存会、下綴青年会(じゃんがら念仏踊り)、スバリゾートハワイアンズ
ダンシングチーム、スバリゾートハワイアンズファイヤーナイフダンスチームSiva Ola ほか
参加クリエイター : 中西瑞美(衣装)、青木兼治(映像)、上石了一(写真) ほか
東京キャラバン総監修: 野田秀樹(劇作家・演出家・役者)
主催 : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、いわき市
協力 : 小名浜まちづくり市民会議
問い合わせ先 : info@tokyocaravan.jp

インターネットライブ中継

「東京キャラバン in いわき」をより多くの方にご覧いただけるよう、公式WEBサイトにてライブ中継いたします。詳しくは、WEBサイトをご覧ください。<http://tokyocaravan.jp>

※出演者やプログラムは予告なく変更になる場合があります。

東京キャラバンは、どこまでも！

文化の香りがあるところに、人間の営みもある。そんな出会いが、ここから、また生まれる。

時間も時代もとまらない。そんな世の中で、われわれが、できることはなんだろう。

ひよんなキッカケで、歯車は、回りはじめる。

カタカタ！

「東京キャラバン in いわき」がじわじわと近づいてくる！

これは、きっと愉快なのだ！！

近藤良平（振付家・ダンサー・「コンドルズ」主宰）

リーディングアーティスト プロフィール

近藤 良平

「コンドルズ」主宰。振付家・ダンサー。男性のみ、学ラン姿でダンス、映像、コントなどを展開するダンスカンパニー「コンドルズ」は、2016年、20周年記念となるNHKホール公演を即日完売超満員に。追加公演も行う。世界30カ国以上で公演。NHK「サラリーマンNEO」、「からだであそぼ」などに振演出演。同「てっぱん」オープニングの振付も担当。東京スポーツ国体2013開会式式典演技総演出担当。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第67回横浜文化賞受賞。女子美術大学、立教大学などでダンスの指導も行う。現在、NHKエデュケーショナルと共に0歳児からの子ども向け観客参加型公演「コンドルズの遊育計画」や埼玉県と組んで行う「近藤良平と障害者によるダンス公演」コンドルズ公演など、多様なアプローチでコンテンポラリーダンスの社会貢献に取り組んでいる。南米育ち。愛犬家。



撮影：HARU

「東京キャラバン」とは？

「東京キャラバン」は、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団が2020年に向けて、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムとして実施しています。劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを超えて、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げ、それぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを各地で展開しています。「東京2020オリンピック・パラリンピック」の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして実施した2015年の東京・駒沢に始まり、2016年、リオデジャネイロ、東北（仙台・相馬）、六本木、2017年は京都（二条城・亀岡）、八王子、熊本にて、松たか子（女優）、中納良恵／EGO-WRAPPIN'（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師）、2018年は豊田、高知、秋田にて、黒木華（女優）、熊谷和徳（タップダンサー）、チャラン・ポ・ランタン（アーティスト）など芸術文化界で活躍する様々な著名人が参加し、それぞれの圧倒的なパフォーマンスで48,600人以上の観覧者を魅了しました。2017年度からは「東京2020公認文化オリンピアド」として本格始動し、日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）の中から立候補を募り、共感いただいた44の地域から開催候補地を選出し、2019年度はいわき市、埼玉県、富山県、岡山県、北海道での実施が決定しました。今後さらに全国各地で「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を超えた交流を継続的に図ることで、東京2020大会以降の文化的な基盤を創っていきます。

東京キャラバン公式ウェブサイト：<http://tokyocaravan.jp>



東京キャラバン～プロローグ～(2015年)
撮影：井上嘉和



東京キャラバン in RIO(2016年)



東京キャラバン in 東北(2016年)



東京キャラバン in 六本木(2016年)
撮影：篠山紀信



東京キャラバン in 京都(2017年)
撮影：井上嘉和



東京キャラバン in 秋田(2018年)
撮影：コンドウダイスケ

東京都

ARTS
COUNCIL
TOKYO

本リリースに関するメディアお問い合わせ先

東京キャラバン広報事務局 担当：岩川・銭谷

TEL: 03-6826-8708 Email: press@tokyocaravan.jp

参加アーティスト from 東京キャラバン

リーディングアーティスト: 近藤良平(振付家・ダンサー・「コンドルズ」主宰)



「コンドルズ」主宰。振付家・ダンサー。男性のみ、学ラン姿でダンス、映像、コントなどを展開するダンスカンパニー「コンドルズ」は、2016年、20周年記念となるNHKホール公演を即日完売超満員に。追加公演も行う。世界30カ国以上で公演。NHK「サラリーマンNEO」、「からだであそぼ」などに振付出演。同「てっぱん」オープニングの振付も担当。東京スポーツ国体2013開会式式典演技総演出担当。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第67回横浜文化賞受賞。女子美術大学、立教大学などでダンスの指導も行う。現在、NHKエデュケーショナルと共に0歳児からの子ども向け観客参加型公演「コンドルズの遊育計画」や埼玉県と組んで行う「近藤良平と障害者によるダンス公演」ハンドルズ公演など、多様なアプローチでコンテンポラリーダンスの社会貢献に取り組んでいる。南米育ち。愛犬家。

チャンキー楽団



小西英理(ピアノ・アコーディオン)

大阪芸術大学卒業、鍵盤奏者、作曲、カリブ音楽好き。2000年演奏活動スタート、copa salvo結成、キューバレーコーディング決行。Matt sounds ではジャマイカRock steadyアーティストのサポート。参加バンド：copa salvo/光風 & GREEN MASSIVE/EXOTICO DE LAGO/KARAMUSHI&Super Friends/Matt sounds (piano)/erimori/eribaku/小西英理ピアノトリオ/CULTIVATOR/ OBRIGARRD session/ etc.



坂口修一郎(トランペット)

音楽家、プランニング・ディレクター、Double Famous / BAGN Inc.代表。1993年無国籍楽団ダブルフェイマスを結成。音楽活動の一方、2004年代官山UNITの設立に参加。2010年より鹿児島でクロスカルチャーな野外イベントGOOD NEIGHBORS JAMBOREEを主宰している。現在はランドスケーププロダクツ内にディレクションカンパニーBAGN Inc.を設立。ジャンルを越境したイベントのプロデュース/ディレクションを多数手がけている。著作として「ぼくらの岡山案内」(岡本仁と共著)がある。



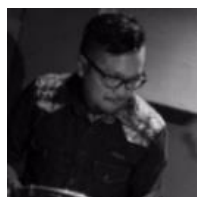
しみずけんた(カバキーニョ)

音楽家。トロップレコード主催。2010年にラテンバンド、コロリダスを結成。ボーカル、ギター、カバキーニョ、作詞 & 作曲を担当。チリンとドロン & しみずけんた、Love Samba DEES、of Tropiqueに参加の他、CMなどの音楽制作、ソロでの弾き語りでも活動中。



チャンキー松本(歌・切り絵)

1967年香川県生まれ。イラストレーターとして活動しながら、人の正面からの顔をハサミ1本で切り抜く「切り似顔絵」という芸で、テレビ番組「笑っていいとも!」、Eテレ「シャキーン!」に出演。浅草奥山風景、大阪水都祭、瀬戸内芸術祭、鳥取藝住祭など各地のイベントに参加。2013年絵本作家として、絵本「ちんどんやちんたろう」でデビュー。他に「たがやせ! どじょうおじさん」「こけしのゆめ」がある。その他「ポンキッキーズ」挿入歌「ピピカソ」の作詞を担当など、さまざまな顔を持つ。東京杉並区在住。



南條レオ(パーカッション)

サンパウロ生まれ東京育ちのマルチミュージシャン。サルサバンド「CENTARL」やアフロビートバンド「KINGDOM☆AFROCKS」等のダンスバンドに所属し、フロアを揺らせてきた。その他、一十三十一、Rickie-G、Pushim、Saigenji、Tony Allen、Joe Bataan等との共演や楽曲提供、CM音楽製作など幅広く活動中。



ぼん宇都良太郎(ベース)

鹿児島県出身。旧九州芸術工科大学にてジャズサークルに所属し、コントラバスを弾き始める。「世界のCMフェスティバル」の専属チンドンバンドにて各地を練り歩く。ラテン音楽に魅了されキューバへ留学。帰国後ラテンバンド「コロリダス」に参加し、日々ベースと遊んでいる。



岡田カーヤ(アルトサックス)

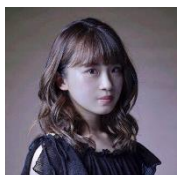
ライター、編集者、音楽家。街の楽団「Double Famous」ではサックス、アコーディオンなどを担当。旅と日常の間で、人の営み、土地に根ざした食や音楽などの記事を書く。書籍などの企画・編集を行うほか、『翼の王国』『ソトコト』『dancyu』などで執筆。ワインとスープを飲み歩くのが好き。

ダンサー・パフォーマー



大西彩瑛(ダンサー)

日本大学芸術学部卒。卒業時に芸術学部長賞受賞。在学中より近藤良平、平原慎太郎、伊藤千枝などの作品に出演。ダンスカンパニー踊る酸素主宰。卒業後2018年より平原慎太郎主宰のダンスカンパニーOrganWorksに参加。最近はMVや演劇作品にもダンサーとして関わる。



小林らら(ダンサー)

3歳より、小林恭バレエ団バレエスクールにてクラシックバレエを始め、現在まで、日本バレエ協会、小林恭バレエ団、バレエ団ピッコロ、などのバレエ公演に出演。高校在学時、東京芸術劇場×勅使川原三郎U18メンバーのオーディションに合格し、コンテンポラリーを始める。以後、勅使川原三郎をはじめ、近藤良平、鈴木ユキオ、青木尚哉、スズキ拓朗などの作品に参加。

参加アーティスト・クリエイター from いわき

オナハマリリックパンチライン(ラップグループ)



かみみさか

上三坂やっちき踊り保存会



しもつづら

下綴青年会(じゃんがら念仏踊り)



現在、踊りの原型を残しながら、後世に文化を繋いでいる市内唯一の団体。左右それぞれの手足を同時に上げ、早いテンポでダイナミックに飛び跳ねる踊りであり、もとは求愛のために男女が向かい合って歌い踊る歌垣の踊りであった。県指定重要無形民俗文化財。

市内に100以上あるじゃんがら団体の一つ。いわきでは夏の風物詩として最も身近な伝統芸能であり、その由来は江戸時代まで遡る。毎年お盆になるとその年に亡くなった方のお宅に伺い、故人の供養と遺族への励ましを目的に演じている。市指定無形民俗文化財。

スパリゾートハワイアンズダンシングチーム(通称:フラガール)



2006年公開の映画『フラガール』のモデルになったことでも知られるフラダンスチーム。東日本大震災後は、福島県や東北地方全体の観光復興の為、全国キャラバンを実施。“復興のシンボル”と称され、2011年に第3回観光庁長官表彰を受賞。

スパリゾートハワイアンズファイヤーナイフダンスチーム Siva Ola



日本で唯一のプロのファイヤーナイフダンスチーム。大きなナイフの両端に燃えさかる火を点けて、体の周りでバトンのように自由自在に回しながら勇敢に踊る。